

6課 視点を動かさない手段-3 受身・使役・使役受身の使い分け



A 受身文を使う場合

1. 話者が、第三者の行為または出来事の影響を直接的・間接的に受けたことを表すとき
(主語はふつう話者、または、動作主よりも心理的に話者に近い人) → 第3部4課

例・わたしは山中さんにドライブに誘われた。

(主語=わたし 動作主(誘った人)=山中さん)

・母は電車の中でだれかに足を踏まれてけがをした。

(主語=母 動作主(踏んだ人)=だれか)

2. 主題についての情報が大切なため、動作の主体をはっきり言う必要がないとき

例・事故でけがをした人たちはすぐに病院に運ばれた。(運んだ人=?)

・いじめられた子は転校してしまった。(いじめた人=?)

・この寺は15世紀に建てられた。(建てた人=?)

*主題とともに動作主も大切な情報のときは「～によって」を使って表します。

・キリスト教はフランシスコ・ザビエルによって日本に伝えられた。

3. 自然にそのような気持ちになると言いたいとき: 自発を表す文

(心の動きを表す動詞を使う。)

例・この写真を見ると、昔のことが思い出される。

・就職難はさらに続くと思われる。

・この音楽には何ともいえない優しさが感じられる。

B 使役文を使う場合

1. ほかの人に、ある動作をするように強制するとき

(主語はふつう動作主よりも立場が上の人)

例・わたしは弟に荷物を持たせた。(強制した人=わたし 持った人=弟)

・監督は選手たちを毎日30分走らせた。(強制した人=監督 走った人=選手たち)

2. ほかの人の行為を許すとき

例・先生は学生たちに自由に意見を言わせた。(許した人=先生 言った人=学生)

・両親は妹に好きな道を選ばせた。(許した人=両親 選んだ人=妹)

3. あることが原因で、必然的にそのような感情が起こる・行為をすると言うとき

例・電車が遅れて友達を30分も待たせてしまった。(待った人=友達)

・公園の美しい花が行楽客を楽しませている。(楽しんでいる人=行楽客)

C 使役受身文を使う場合

1. 自分の意志ではなく、ほかの人に強制されてそうすると言うとき

(迷惑だという気持ちがある。)

例・子供のとき、母によく手伝いをさせられた。(手伝いをした人=わたし)

・入社当時は社内の規則をいろいろ覚えさせられた。(覚えた人=わたし)

2. あることが原因で、必然的にそのような感情が起こる・行為をすると言うとき

(主語は話者。いい感情を表す場合はあまり使わない。)

例・彼の自分勝手な行動にがっかりさせられた。(がっかりした人=わたし)

・一生懸命仕事をしている人を見て、大いに反省させられた。(反省した人=わたし)

練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

1 このところうまくいかないことが多くて疲れていた。でも、(a 友人の言葉が元気づけた
b 友人の言葉に元気づけられた)。

2 犬は人間とは違う。人間と同じ物を(a 食べられない b 食べさせない)ほうがいい。

3 すみません。よくわからなかつたんですけど、もう一度(a 説明してくださいませんか
b 説明させてくださいませんか)。

4 母は病院で3時間も(a 待たれた b 待たされた)らしい。疲れて帰ってきた。

5 君には期待しているのだ。(a 失望されない b 失望させない)ほしい。

6 子供にパンを買いに(a 行かせたら b 行かされたら)、お金を落としてしまった。子供は泣きながら帰ってきた。

7 最近の子供の事情について説明を受けた。改めて(a 教育の大切さが考えられた b 教育の大切さを考えさせられた)。

8 うちの子は朝、(①a 起こされなくても b 起こさせなくても)自分で起きて、学校に行く準備を(②a します b させます)。親を(③a 心配する b 心配させる)ようなこともしません。



練習2 ()の中の動詞を文章の流れに合う形にして、書き入れなさい。

- 1 わたしは人には強い人間と(①思う→)いるらしいが、実は非常に気が弱い。これは自分が一番よく(②知る→)いることだ。仕事の関係で、周りの人に頼りない男という印象を(③持つ→)まいとして、表面的に強がっているだけのことだ。
- 2 子供には小さいころからいろいろな経験を(①する→)ほうがいいと思って、できる範囲で家事も(②手伝う→)います。時には、子供たちに不平を(③言う→)こともありますが、子供たちにしても家の中のこといろいろ(④する→)のは楽しいと思っているようです。
- 3 ごみの出し方が(①守る→)いない。燃えるごみと燃えないごみを別々に(②出す→)ことはもう常識である。今は、ペットボトル、かん、びん、容器包装プラスチックが資源として(③集める→)いる。この容器包装プラスチックというのは、商品の中身を(④使う→)後で不要になったプラスチックのことだが、汚れたままのものが(⑤出す→)ことがあるので、清掃局では困っているようだ。
- 4 車の運転免許を取るのは大変だった。怖い教官に何回もアクセルやブレーキの練習を(①する→)。わたしは特別に下手だったので(②しかる→)ばかりいた。教官の教え方も悪いのだ。腹が立ったので「③(しかる→)ばかりいで、わかりやすく教えてくださいよ。」と文句を(④言う→)。この言葉が教官を(⑤怒る→)らしく、以後、彼は、わたしの指導はしなくなった。
- 5 日本は四方を海に(①囲む→)いる。当然、漁業によって暮らしを(②立てる→)いる人が多い。漁業を(③営む→)いる人たちの間で(④知る→)いるのが「魚付林」という言葉だ。海と林とは関係がなさそうに(⑤思う→)が、実は大いにあるのだ。森林に(⑥降る→)雨は、大地にしみ込み、そして、海に流れこむ。この水にはミネラルが多く(⑦含む→)ので、海草や魚に豊富な栄養を(⑧与える→)のである。

まとめ 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1から□5の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい

自分の考えに自信をもち、これでよいのだと自分に言いきかせるだけでは充分ではない。

ほかの人の考えにも、肯定的な姿勢を□1しなくてはならない。どんなものでもその気になつて探せば、かならずいいところがある。それを称揚する(注1)。

よくわからないときにも、ぶつつけに、

「さっぱりわかりませんね」

などと水をかけるのは禁物である。

「ずいぶん難しそうですが、でも、何だかおもしろそうではありませんか」

とやれば、同じことでも、□2はまったく違つてくる。すぐれた教育者、指導者はどこかよいところを見つけて、そこへ道をつけておく。□3では、多少、けなされていても(注2)、□4をよりどころにして希望をつなぎとめることができる。

全面的に否定してしまえば、やられた方ではもう立ち上がる元気もなくなる。□5-aでダメだと言うのでさえひどい打撃である。ましてや□5-bからダメだときめつけられたら、目の前が真っ暗になつてしまう。

(外山滋比古『思考の整理学』ちくま文庫による)

(注1) 称揚する：ほめる

(注2) けなす：悪く言う

1

1 とるように 2 とられるように 3 とらせるように 4 とらされるように

2

1 あた 与えさせる感じ 2 与えさせられる感じ 3 受ける感じ 4 受けさせる感じ

3

1 批評した側 2 批評された側 3 批評させた側 4 批評させられた側

4

1 ほめたところ 2 ほめられたところ 3 けなしたところ 4 けなされたところ

5

1 a みんな／b 自分	2 a 他人／b みんな
3 a 他人／b 自分	4 a 自分／b 他人

7 課 視点を動かさない手段 - 4 「～てあげる・～てもらう・～てくれる」の使い分け

A 視点の置き方

◆ 比較して考えたときに、心理的に話者に近い方に視点を置きます。

わたし>いとこのみっちゃん>(わたしが住んでいる市の)市長>アメリカの大統領

例 ○ いとこのみっちゃんは市長にいい仕事を紹介してもらった。

(「みっちゃん」のほうが「市長」より心理的に書き手に近い。)

✗ 市長はいとこのみっちゃんにいい仕事を紹介してあげた。

○ 市長はアメリカの大統領にいい会場を用意してもらったそうだ。

(「市長」のほうが「アメリカの大統領」より心理的に書き手に近い。)

✗ アメリカの大統領は市長にいい会場を用意してあげたそうだ。

B 「～てもらう・～てくれる」を使うときの注意

◆ 「～てもらう・～てくれる」と「～られる(受身)」は主に「快・不快」で使い分けます。

形式	快・不快	例
～てもらう ～てくれる	快	きれいな服を着た日に、姉に写真を撮ってもらった。 毎朝、7時に電話で起こしてもらっている。 今日のコンサートでは懐かしい曲をたくさん聞かせてもらった。 お掃除ロボットは自動で部屋を掃除してくれる機械である。
～られる (受身)	不快	変な顔をしていたら、姉に写真を撮られた。 毎晩、赤ん坊の泣き声に起こされて、寝不足になる。 瞬が音楽教室なので、下手なバイオリンを毎日聞かされる。 机の上を他人に勝手に掃除されたら気分が悪いだろう。

* 受身文には中立的な意味のものもあります。

「名前を呼ばれたら、返事をしてください」→第3部6課

◆ 「～てもらう・～てくれる」がないと、動作の相手がわからないことがあります。

例 ? 田中さんが教えた歌は、アメリカの民謡だそうです。(だれに教えたかわからない。)

○ 田中に教えてもらった歌は、アメリカの民謡だそうです。(わたし(たち)に教えた。)

○ 田中さんが教えてくれた歌は、アメリカの民謡だそうです。(わたし(たち)に教えた。)

? 花子が書いた手紙を何度も読み返しています。(だれに書いたかわからない。)

○ 花子が書いてくれた手紙を何度も読み返しています。(わたしのために書いた。)

◆ 「～てもらう」と「～てくれる」は主語が違います。文章中に主語がはっきり表れない場合がある
ので注意が必要です。

例 事務室に行けば、申請書の書き方を教えてくれますよ。教えてもらってから書いたほうがいいで
すよ。(事務室の人が教えてくれる。わたしたちが教えてもらう。)

練習1 適当なものを見抜きなさい。

- 兄は婚約者のゆき子さんが(a くれた b あげた c もらった)ネクタイをなくして大騒ぎしている。
- 田中部長はわたしの母にまで海外旅行のお土産を買ってきて(a くれた b あげた c もらった)。
- 君が説明書を(a 送った b 送ってくれた c 送つてあげた)ので助かりました。
- 昨日渡辺君が(a 見せた b 見せてくれた c 見せてもらった)書類に何が書いてあつたか忘れてしまった。
- 山本さんがうちの祖母を花見に招待して(a くれた b あげた c もらった)。
- 道に迷ってしまった。通りかかったおばあさんに道を聞いたら、親切に教えて(a くれた b あげた c もらった)。
- 今日は美容院で、あまり好きではない形に髪を(① a 切ってくれた b 切ってもらった c 切られてしまった)。来月はカット代を節約するために、姉に髪を(② a 切ってもらう b 切つてあげる c 切られる)ことにしよう。
- 駅前のスーパーでは、買ったものをまとめて自宅に(① a 届ける b 届けてあげる c 届けてもらう)というサービスを始めた。わたしは週に1度、仕事の帰りにまとめ買いをして、(② a 届けて b 届けてあげて c 届けてもらって)いる。



練習2 適当なものを選びなさい。

- 1 この市には外国人相談室というのがある。何か問題があるとき、いろいろ相談に応じて
(①a あげる b もらう c くれる)。先日、この相談室に行ってアパートの探し方を教えて(②a あげた b もらった c くれた)。中国語と英語と韓国語のコーナーがあって、話をちゃんと理解して(③a あげる b もらう c くれる)から心強い。友人にもこの相談室のことを教えて(④a あげよう b もらおう c くれよう)と思う。
- 2 同じクラスの山口さんは、校長先生に推薦書を書いて(①a あげて b もらって c くれて)、日本の高校生の代表として世界青少年平和会議に参加することになった。あの厳しい校長先生がよく推薦書を書いて(②a あげた b もらった c くれた)ものだと感心するが、山口さんにはそれだけのパワーがある。そのパワーを周りの人たちにも分けて(③a あげて b もらって c くれて)ほしい。
- 3 だれかに自分の気持ちを聞いて(①a あげる b もらう c くれる)ことは、精神安定剤のような効果がある。何の批判もされず、ただ聞いて(②a あげる b もらう c くれる)だけで人は心が安定してくるのだ。相手がときどき軽くあいづちを打って(③a あげれば b もらえば c くれれば)、さらに話しやすい。そういう思いがあって、わたしはほかの人の話を一生懸命聞いて(④a あげる b もらう c くれる)ように心がけている。
- 4 年をとった母のために役所へ行って老人ホームへの入所を相談したら、係の人が丁寧に説明して(①a あげた b もらった c くれた)。「市内に何か所か施設がありますから、お母さんを案内して(②a あげて b もらって c くれて)ください。お母さん自身が一番いいと思う所を探して(③a あげる b もらう c くれる)のがいいですよ。」と言われた。そうだ。最終的には母に決めて(④a あげる b もらう c くれる)のがいいのだ。
- 5 近くの公園内のベンチが壊れているので早く直して(①a あげたい b もらいたい c くれたい)と思って、役所に電話で(②a 連絡した b 連絡してあげた c 連絡してもらった)。係の人は一応話を聞いて(③a あげたが b もらったが c くれたが)、何日待っても直しに来て(④a あげない b くれない c られない)。住民の要求にもつと早く(⑤a 応じてほしい b 応じてあげてほしい c 応じてくれてほしい)。

まとめ 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1 から □5 の中に入る最もよいものを1・2・3・4から1つ選びなさい。

このあいだ、大きな葬儀社^(注)の社長さんと話す機会があった。とてもやさしくあたたかみのあるその社長さんは、おもしろい話を□1。「最近、うちの会社に就職したいという若者が増えているんですよ。就職難ということもあるでしょうけれど、どうもそれだけではないようです。別の企業に合格したのに、どうしても葬儀社に、と希望して来る人もいるのです」

「若者たちは、これまで地味な仕事と□2 葬儀社に、どうして就職したがるのだろう?」私がそう質問すると、社長さんは□3。「それは、私たちの仕事が人を助け、感謝される仕事だからです。今の世の中、直接お客様から“ありがとうございます、おかげで助かりました”と□4 仕事は、なかなかないでしょう?」

たしかにそうだ。ふつうの会社や役所につとめても、自分のした仕事が直接、だれかを救うという機会はまずない。私も大学で授業していて、学生に「先生、いいこと教えてくれてありがとう」なんて□5 ことはない。病院では「ありがとうございます」と言われる場面もあるけれど、「ぜんぜんよくなりません」と苦情を言われることもけっこうある。

(香山リカ『10代のうちに考えておくこと』岩波ジュニア新書による)

(注)葬儀社：葬式の手伝いをする会社

1

1 聞いてくれた 2 聞いてもらった 3 聞かせてくれた 4 聞かせてもらった

2

1 思わされた 2 思われてきた
3 思ってもらっていた 4 思つてもらってきた

3

1 答えてくれた 2 答えさせてくれた
3 答えてあげた 4 答えさせてあげた

4

1 言ってくれる 2 言ってもらえる
3 言わせてくれる 4 言わせてもらえる

5

1 言われた 2 言わせた 3 言ってあげた 4 言ってくれた

8課 指示表現「こ・そ・あ」の使い分け



文章にまとまりを持たせるために、指示表現は大切な役割を持っています。文章中の指示表現には「そ」または「こ」のつくものを使い、ふつう「あ」のつくものは使いません。

~~~~~

### A 文章中の「こ・そ・あ」の基本

◆文章の中の指示語はふつう、前に出てきた言葉や文を指します。

◆文章では「そ」を使うのが基本です。

◆話題や指すものが、話者と心理的に近いことを示したいときは、「こ」を使うことが多いです。

例・人の話を耳を傾けて熱心に聞く。このことの大切さをわたしはこのごろ実感している。

・昨日、佐藤さんが訪ねてきた。この人には10年以上もの間会っていなかったが、決して忘れてはいけない人である。佐藤さんは……

### B 「こ」しか使えない場合

1. 話者が紹介した言葉やデータを指すとき

例・「それでも地球は動いている」。これは地動説を唱えたガリレオ・ガリレイの有名な言葉である。

・現在、日本の小麦の自給率は約12%である。この数字はさらに低くなると思われる。

2. 指すものの原因・理由を詳しく言うとき

例・野菜の値段が通常より上がっているそうである。これは4月になっても寒い日が続いたためである。

・ダイエットに成功してこのごろ体調がいいです。これは妻が厳しく健康管理をしてくれたおかげです。

### C 「そ」しか使えない場合

1. 仮定文(もし～たら・たとえ～ても)の中のものを指すとき

例・もし住民が反対してこの計画が実行できなくなったら、その責任はだれがとるのか。

・たとえ遠くへ引っ越しても、そこでもきっとたくさんの友達ができるだろう。

2. 話者が指示・依頼・勧誘した内容に関係のあるものを指すとき

例・当日の会費は受付の人に払ってください。その人が会場に案内してくれるはずです。

・集合場所に着いたらまずカードを受け取ること。それに自分の名前を書いて胸につけてください。

3. すぐ前にある言葉を指すとき(「その」を使います。)

例・この箱の中に製品とその使用説明書が入っています。

・まず円をかき、その中に好きな言葉を三つ書きます。

4. 他者の意見や、前の文で書いたことを否定するとき

例・景気はだんだん回復していくと言う人もいるが、わたしはそうは思わない。

・彼には本当に指導力がないのか。そんなことはないとわたしは思う。

### D 「あ」を使う場合

1. 筆者が個人的な文章の中で、回想して述べるとき

例・沢田氏と別れてもう20年になる。あの人は今どうしているのだろうか。

・青森から引っ越してきたのが3年前の3月。あれから青森には一度も行っていない。

**問題1** どちらか適当な方を選びなさい。(両方良いものもあります。)

1 「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」— (a これ b それ) は『雪国』という小説の有名な一節である。

2 ある雑誌にわたしはK. N. の名を見つけた。(a この b その) 人とわたしにはある秘密つながりがあった。

3 現在日本でウェブニュースを読む人の割合は20代が最も高く、72.8%、読まない人は26.9%、同じ年代で新聞を読む人は52.7%、読まない人は46.7%となっている(平成21年文化庁調査)。

(a この b その) 数字からどんなことが言えるだろうか。

4 町の本屋の閉店が相次いでいる。(a これ b それ) は主に、インターネットによる直接購入や大型書店の出現で、利用率が下がったためと考えられる。

5 まっすぐ行くと入り口があります。(a ここ b そこ) に立っている人が入館許可証を渡してくれるはずです。



- 6 この原稿をチェックして問題点を見つけ出してください。(a この b その)箇所は後でわたくしが再チェックします。
- 7 もし別の人気がこの会を運営することになったら、(a この b その)人にしっかり会の内容を説明したい。
- 8 このイベントに参加していただけるのは、小学生と(a この b その)保護者です。
- 9 アンケート結果については図Aを見ていただきたい。(①a この b その)グラフからわかるように、買い物袋を必ず持参する人はまだ多いとは言えない。(②a これ b それ)は「持ち歩くのが面倒」、「なんとなく格好が悪い」というのが主な理由のようである。
- 10 大学の前にある喫茶店でよくコーヒーを飲んだものだ。(①a その b あの)喫茶店はまだ(②a その b あの)場所にあるだろうか。

**問題2 適当なものを選びなさい。**

新聞を読んでいて、これはと思う記事にぶつかる。あとで切り抜いておこう、と思いながら、ほかのところへ目を移す。ところが、この「あとで」がくせものである。しばしば、その「あとで」はどうとう、やってこない。

忘れてしまう、というのではない。覚えてはいる。ただ、とりまぎれて、二日も三日も経ってしまうことがすくなくない。そこで思い出して、そうそう、(①a これ b それ c あれ)を切り抜かなくてはと、新聞をとり出して、たぶん、(②a ここ b そこ c あそこ)ではなかつたか、と思うところを見ると、ない。おかしい、とすこしあわてる。こうなると、もう見つからない。さては、夕刊だったか。(③a こんな b そんな c あんな)ことはない。たしかに朝刊で、(④a この b その c あの)ページだったと目を皿のようにするが、見つからない。いらいらする。そうなると、ますます大事なことが書いてあったように思われてくる。

どうも、興味をもって読んだものは、頭の中へ入ると、勝手に変化するらしい。たしか、(⑤a こんな b そんな c どんな)見出しの感じだったと思ってさがすのに、見当たらぬ。やっとさがし当ててみると、頭に描いていたのとは、違っているではないか。

それでも出でくれればいい方である。三、四日前に(⑥a こんな b そんな c どんな)記事があった、というのでさがすときなど、まず、見つからない方が多い。購読紙が一紙だけならいいが、三紙も四紙もあると、そもそも(⑦a この b その c どの)新聞だったかすら、あやしくなってしまう。新聞の山の中から、目ざす記事を見つけ出すのは、よほどの平常心が必要で、あせったり、急いだりしていては、決して見つけられない。

(外山滋比古『思考の整理学』ちくま文庫による)

**まとめ** 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1 から □5 の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

雨を見ていて面白い経験をしたことがある。絵の中で雨を線で描くのは日本人だけらしい。ゴッホ(注1)が模写した有名な広重(注2)の□1、雨を線であらわすというのはヨーロッパ人には新鮮だったらしい。□2もちろん大人になってから知ったことだ。認知学の方でも、雨を線として見るのは日本人独特の認識なのだと言っている。□3おもしろいことだ。歐米人には雑音としてしか聽こえない虫の音が、日本ではすごく美しい音色に聞こえたりする感覚と、どこかで通じているのではないかと思う。

ぼくも、雨というのはそもそも細い水の線になって落ちているものだと思っていた。□4はどこまで繋がっているのだろうかと不思議だった。ところが、あるとき先生に「雨は本当は線ではない。水の粒が落ちてきているんだ」と教わった。でもなんとなくそれは納得がいかなかった。雨を見ていると、どうみても線に見える。線に見えるのに粒だとは、どうも納得がいかなかった。

その後学校で、万有引力のことを知った。理科で習ったのか、図書館で読んだのか、友だちと□5しゃべったりして覚えたのかもしれない。綿と釘を同時に落とした場合、空気の抵抗がなかつたら綿も釘も一緒に落ちると聞いて、これもなかなか納得がいかなかった。

(赤瀬川原平『目玉の学校』ちくまプリマ新書による)

(注1)ゴッホ：オランダの画家(1853～1890)

(注2)広重：日本の浮世絵師(1797～1858)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| □1 1 雨の絵もそうなのだが | 2 雨の絵もああなのだが    |
| 3 雨の絵はそれほどでもないが | 4 雨の絵はあれほどではないが |
| □2 1 これは        | 2 それは           |
| 3 こんなふうに        | 4 そんなふうに        |
| □3 1 これは        | 2 それは           |
| 3 どんな水の線        | 3 あの水の線         |
| 4 あの水の線         | 4 その水の線         |
| □4 1 このように      | 2 そのように         |
| 3 こんなことを        | 4 そんなことを        |

## 9課 「は・が」の使い分け

「は」と「が」は基本的な機能が違い、文章の中でそれぞれの役割があります。文章にまとまりをも持たせるために、「は」と「が」を使い分けることが必要です。

### ◆「は」と「が」の基本的機能

例 今日の夕食はユリが作る。

「は」 主題(何について話すか)を示す。「今日の夕食は」  
 「が」 主格(動作・事態の主体)を示す。「ユリが」

~~~~~

A 文章の中での「は」と「が」の基本的用法

「が」初めて話題に出たもの、または、読み手には特定できないと考えられるもの

「は」すでに話題に出たもの、または、読み手に特定できると考えられるもの

例・昔むかし、あるところに①おじいさんとおばあさんが住んでいました。ある日、②おじいさんは山へ木を切りに行きました。③おばあさんは川に行って洗濯をしました。その時、川上から大きな④桃が流れてきました。⑤桃は今まで見たこともないほどの大きさでした。

初めて話題に出たもの：①おじいさんとおばあさんが ④桃が

すでに話題に出たもの：②おじいさんは ③おばあさんは ⑤桃は

B 初めて話題に出たものであっても「は」を使う場合

1. 二つのことを対比させるとき

例・わたしは日本に来た当時は日本語がわからなかった。今はもう困ることはない。
 ・この学校は環境はいい。しかし、交通は不便だ。

2. 特に取り立てて話題にするとき

例・わたしはモーツアルトの音楽はすでに飽きるほど聞いた。しかし、聞くたびに新しい発見がある。
 ・昔のようなどかな光景はもう絶対に見るチャンスはないだろう。そう思うと残念でたまらない。

C すでに話題に出たものであっても「が」を使う場合

1. 前の文章の流れが大きく変わるとき

例・わたしたち夫婦は体のことで心配したことはなかった。わたしも妻も食事に気をつけ、定期的に健康診断もしていた。毎日の運動も欠かさなかった。ところがある日、妻が「体の調子が悪い」と言い出した。
 ・この検定試験は長い間同じ形式が守られ、毎回大体同じような内容の出題がされていた。その試験が来年から大きく変わるという。

2. 「は」で取り上げた話題について、特徴的なことがらや性質を述べるとき：「～は～が」文

例・先日ふるさとの山形県に帰った。毎日さくらんぼを食べた。確かに山形県はさくらんぼが豊富だが、毎日食べると飽きてしまう。
 ・ふるさとの駅に着いて空を見上げた。ふるさとは空が特別にきれいだ。

3. 出来事の報告をするとき・ニュース性がある話題を取り上げるとき

例・今朝、中央線で電車の事故があった。そのため、電車が20分遅れた。
 ・駅前のビルが完成した。明日完成祝いが開かれるそうだ。

練習1 「は」か「が」を_____の上に書きなさい。

- わたしは田中博士の部屋を訪ねた。目が大きく髪の長い、美しい女性_____博士だった。
- わたしは田中博士の部屋を訪ねた。博士_____目が大きく髪の長い、美しい女性だった。
- 日本の各地に「富士」_____ついた地名_____ある。それほど富士山_____人々に親しまれ、大切にされているのだ。
- 今年の夏の平均気温_____記録的だった。気温_____35度以上の猛暑日_____続いて、死者_____出るほどだった。
- たばこ_____値上がりして、喜ぶ人_____だれか。自分も含め、家族_____たばこを吸わない人_____一番喜ぶのではないか。
- 近所の公園に高齢者のためのスポーツ広場_____できた。毎朝、数人_____集まってきて、体を動かしている。
- 母の友人に山川さくらさんという人_____いる。さくらさん_____80歳を過ぎてもおしゃれをして、よく出歩き、よくおしゃべりをしていた。そのさくらさん_____最近全く元気がなくなったというのである。

練習2 「は」か「が」を _____ の上に書きなさい。

1 ミルクを買って家に帰ると、拾ってきた子猫がない。あれほど見ていてと頼んだのに……。
のんびり漫画を読んでいる兄に怒って聞いた。

「ねえ、どこなの？」

「あ、お母さん①_____ 買い物。」

「そうじやなくて、猫よ、猫！」

「ああ、さつき、お父さん②_____ 外に……。体③_____ 汚れているからだめって……。」
わたし④_____ 最後まで聞かずに家を飛び出した。

2 音楽①_____ 人の心をやさしくする。音楽の中では、クラシックのピアノ曲②_____ 特にいいが、
ピアノ曲③_____ クラシックでなくても、最近の若い作曲家のものも気に入っている。そして、
わたしは音楽④_____ 好きな人⑤_____ 好きだ。音楽⑥_____ 好きな人⑦_____ 、きっと音楽と同じようにわたしの心を優しくしてくれるだろうと思う。

3 君は広島に行ったことがありますか。広島の原爆ドーム①_____ 世界遺産にも指定されています。
日本には世界遺産②_____ 10数か所あり、いろいろな国の人③_____ 訪れます。近代の戦争のきずあとを世界遺産にしているの④_____ ここだけなので、ぜひ一度見に行ってみるといいでしょう。

4 いつだったかわたし①_____ 連絡せずに遅く帰ったので、父にしかられた。父②_____ とても心配したらしい。もともとうちの父③_____ 母より心配性で、何かと心配すること④_____ 多い。
その父⑤_____ 、ある日から突然、性格⑥_____ 変わったように何も心配しなくなった。これにはわたしより母の方⑦_____ 驚いたようだ。

5 「力がある人①_____ 何でも一人で決めるのではだめだ。多数決で決めよう。」と、「多数決」という方法がよく使われる。多数決②_____ 民主主義的手段としてわたしたちの日常の中に入り込んでいる。みんなに同じ権利③_____ あって、一番多く賛成を得られた意見④_____ 尊重される。多数決⑤_____ 確かに民主主義的な方法ではあるだろう。しかし、ときどき問題になること⑥_____ ある。少數の意見⑦_____ どうなるか。この点も考えられなければならない。徹底的に話し合いを行い、少數の意見⑧_____ 考慮されてこそ、多数決が民主的手段になるのだと思う。

まとめ 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、①_____ から⑤_____ の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

どんな大木も、そのほとんどの部分は死んでいます。①_____ 、樹皮^(注1)の下のわずかな部分だけ。よく、中心部が腐って中空になってしまって生きている木がありますが、それは②_____ 最初から死んでいるのです。

生きている部分は、日々成長を続けています。春から秋まではさかんに成長し、冬にはごくわずかしか成長しません。そして、成長がよかつた部分が白くなり、悪かった部分は黒色になります。③_____ 年輪^(注2)のできるしくみです。ですから、4~6年ほどで高さ20メートルに成長する熱帯地方特有の樹木バルサは、④_____ 、ほとんど年輪がありません。

ちなみに、⑤_____ 每年、外側に増えていくのでしょうか、それとも内側に増えていくのでしょうか。答えはもちろん、外側。樹皮の下の部分が生きているということを知つていれば、答えは簡単ですね。

(©本郷陽二／日本文芸社)

(注1) 樹皮：木の表面にある皮

(注2) 年輪：木を横に切ったときに見られる、円がいくつも重なっている模様

①

1 生きているのが

2 生きているのは

3 死んでいるのが

4 死んでいるのは

②

1 その部分が

2 その部分は

3 この部分なら

4 この部分も

③

1 これは

2 これが

3 それは

4 それが

④

1 気候の変化が多いので

2 気候の変化が少ないため

3 気候の変化は多ければ

4 気候の変化は少なかつたら

⑤

1 木の年輪が

2 木の年輪は

3 木の年輪も

4 木の年輪では

接続表現は、文と文、段落と段落の関係をはっきりと示すために使われる言葉で、文章の展開を助け、文章にまとまりを持たせる役割を果たします。読む人からすると、次にどんな内容が書かれているかを予測する手がかりになります。

◆文章で使われる、N2レベルの接続表現の基本的な使い方は次のようなものです。

続け方		a	b
話題を 変えない	A 並べる	加えて言う しかも そのうえさらに そればかりか そればかりでなく	比べて言う それに対して 一方 どちらかであることを言う あるいは それとも
	B 論理的に続ける	結果・結論を言う そのため したがって そこで すると このように こうして	予想と合わないことを言う だが ところが それなのに それでも
	C 説明を補う	理由・根拠・背景を言う なぜなら というの	足りない説明を言う ただし ただ もつとも なお
D 話題を変える		さて	ところで

A 話題を変えない—並べる

- a 例・すごい雨だ。しかも、風まで強くなってきた。(同じ評価のことを加える)
 • 田中さんの家で料理をごちそうになった。そのうえ/さらに/そればかりか/そればかりでなく、お土産までもらった。(もっと程度が高いことを加える)
- b 例・駅の南口の方はにぎやかだ。それに対して/一方、北口の方は静かだ。(比べる)
 • 風邪かもしれない。あるいは、インフルエンザかもしれない。(ほかの可能性を言う)
 • 仕事を続けるべきか。それとも、留学するべきか。(ほかの選択肢になる質問を言う)

B 話題を変えない—論理的に続ける

- a 例・この町は標高1,000mの高地にある。そのため、夏でも涼しい。(結果を言う)
 • ここは禁煙だ。したがって、たばこはここで吸ってはならない。(結論を言う)
 • わからないところがあった。そこで、先生に聞いてみた。(その理由による行動を言う)
 • 太郎は箱を開けた。すると、中から煙が出てきた。(そのきっかけで起こることを言う)
 • メールはいつでも簡単に送れるし、安い。しかし気持ちがよく伝わらないこともある。こののように、メールにはいい点も良くない点もある。(結論を整理して言う)
 • 大学では友達もできだし、いいアルバイトも見つかった。こうして、わたしの新しい生活は始まった。(結果をまとめて言う)
 • 結婚式は必要ないと思う。なぜなら/というのは、お金がかかるからだ。(理由を言う)
- b 例・この映画は30年前に作られた。だが、今も人気がある。(予想と合わないことを言う)
 • 何度も確認したはずだった。ところが、計算が間違っていた。(意外な事実を言う)
 • 全力で走った。それなのに、負けてしまった。(意外な事実や残念な事実を言う)
 • 宝くじが当たることはめったにない。それでも、買い続けている。
 (その事実があっても変わらないことを言う)

C 話題を変えない—説明を補う

- a 例・明日は休みだ。つまり、学校に行かなくてもいいのだ。(別の言い方で言う)
 • 野菜は健康にいいが、肉や魚などのたんぱく質も取る必要がある。要するに、いろいろな物をバランスよく食べることが重要だ。(要約する)
 • このアニメを知らない日本人はいないだろう。いわば、これは国民的アニメだ。(例える)
- b 例・閉館日は月曜です。ただし、祝日と重なる場合は翌日の火曜が閉館です。(例外を言う)
 • この時計はデザインもいいし性能もいい。ただ、値段が高い。(評価や主張を修正する)
 • わたしはテニスが好きだ。もつとも、最近はやっていない。(予想されることを修正する)
 • 説明会は3時までです。なお、その後ご質問を受け付けます。(補足情報を言う)

D 話題を変える

- a 例・お久しぶりです。お元気ですか。さて、今日はお聞きしたいことがあってメールしました。
 (次の展開に進むために話を変える)
- b 例・今年もあと1日。お正月の準備はお済みですか。ところで、12月31日が「大みそか」と呼ばれるのはなぜでしょうか。(別の方向に話を変える)



練習1 適当なものを選びなさい。

- 1 DVDを借りたい。(①a そのうえ b それなのに c すると)、近くにはDVDを借りられる店がない。そのような人も多いでしょう。(②a ところで b したがって c そこで)、考え出されたのが、インターネットでDVDが借りられるシステムです。
- 2 「あそこに咲いていた花はきれいだったね」と言われても、覚えていないことがある。(①a このように b ただ c さて)、記憶は人によって異なる。(②a ところが b あるいは c つまり)、見たものが必ず記憶に残るとは限らないのだ。
- 3 出版物などのコピーは私的な利用だけに制限されている。(①a あるいは b ところが c したがって)、ほかの人が書いた本を許可なくそのままコピーして多くの人に配ることはできない。(②a さらに b それとも c ただし)、目の不自由な人のために点字に直すことは認められている。
- 4 多くの人が、どこへ行くにも携帯電話を持ち歩いている。(①a しかも b いわば c そこで)、携帯電話は体の一部と言つてもいい。今の携帯電話は「電話」という名前以上の働きをする。(②a たとえば b なぜなら c すると)、持ち主が今どこにいるかもわかり、必要な情報を送ってくれる。(③a それとも b そればかりでなく c つまり)、銀行の通帳のような役割も持っている。(④a そのため b ただし c それでも)、わたしは携帯電話を持ちたくはない。この反抗心は何なのか。

練習2 □から適当なものを選び、_____の上に書きなさい。

いつぼう
一方 そこで すると なぜなら こうして

- 1 バナナがまだ青くて硬い場合はりんごと一緒に保存しておく。①、早く柔らかくなる。②、りんごからはエチレンという物質がたくさん出ているからだ。この物質がほかの果物を柔らかく甘くするのだ。
- 2 テレビが登場したばかりのころ、「向こうから見られている気がする」という苦情が多く来たのだそうだ。そのころのテレビ画面は丸かつた。①、画面を四角いものに変えたら、このような苦情はなくなった。目玉にしても、カメラのレンズにしても、丸いものはこちらをのぞくものだという意識が働く。②、窓のような四角い穴なら、こちらから眺めるというテレビの機能と合っているというわけだ。③、テレビ画面は丸ではなくて四角い形が用いられるようになったのだという。

まとめ つぎの文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1から□5の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

最近は、カフェ・オ・レという言葉もすっかり日本語に定着したようだ。私たちが大学時代に使った仏和辞典には「牛乳入りコーヒー」とか「ミルク・コーヒー」と訳語がついていたことを思うと隔世の感がある。

□1、フランスの民衆がカフェ・オ・レに親しむようになったのはいつのころかというと、これが思つてはいるよりも古く、十九世紀の初頭には、カフェ・オ・レとパンだけで朝食をします習慣がすでに一般的になっていた。

□2、早合点してはならないのは、当時のカフェ・オ・レは、コーヒーに牛乳を入れたものではなく、牛乳にコーヒーを入れたものだったということである。□3、牛乳を飲みやすくするためにコーヒーで割つたのである。

今日ではちょっと信じられないが、ヨーロッパでは、長いあいだ、牛乳は飲むためのものではなく、バターやチーズを作るための原料にすぎなかつた。なぜかといえば、牛乳は腐敗しやすく、変質したタンパクは強い毒性を持っているからである。

□4、医者の中には、牛乳が回復期の病人に効果があると主張する者もあったので、わざわざ近郊の農家に出向いて、その場で牛乳を飲む都市住民も出てきた。やがて、目先のきく農民が、搾りたての牛乳を朝一番で運んできて都市の街角で売るようになった。結核の予防になるという噂が牛乳を飲む習慣をさらに広めた。

だがご存じのように、搾りたての牛乳というのは匂いがきつくて案外飲みにくいものである。

□5 匂い消しに登場したのがコーヒーだったというわけである。

(鹿島茂『クロワッサンとベレー帽 ふらんすモノ語り』中公文庫による)

- | | | | |
|-----------|-------|--------|------------|
| 1 1 また | 2 さらに | 3 ところが | 4 ところで |
| 2 1 そのため | 2 しかも | 3 だが | 4 一方 |
| 3 1 つまり | 2 やはり | 3 あるいは | 4 なるほど |
| 4 1 なお | 2 しかし | 3 さて | 4 そればかりでなく |
| 5 1 このように | 2 すると | 3 そこで | 4 したがって |

11 課 省略・繰り返し・言い換え

文章としてのまとまりを持たせるために「省略」がよく行われます。省略とは、文章の流れの中で、何を指しているかはっきりわかっている語を後に続く文では言わないことです。そうすることによって言葉の無駄がなくなり、また、文章としてまとまりが出ます。

また、前の文に出てきた言葉を関連する語で言い換えることがよくあります。これも文章にまとまりを持たせるための一つの手段です。

~~~~~

## A 省略されやすい場合

◆前の中文に出てきて、後の文で同じ語の繰り返しになる場合は省略できます。

- 例・あきらはまた『こころ』を読んでいる。もう3回も(『こころ』)読んだそうだが、(『こころ』)を読むたびに新しい発見があるので、何回(『こころ』)を読んでも飽きないのだそうだ。  
・先日、あるウイスキー工場へ見学に行った。(ウイスキー工場は)周囲に山々が見え、素晴らしい所だった。

◆前の中文に出てきた言葉を「は」で受ける場合、「～は」は省略できます。

- 例・家の前に車が止まっている。(車は)黒いベンツだった。  
・あき子は窓際で本を読んでいた。(本は)前日、本屋で見つけ、迷わず買ったものだ。

◆前の中文と後の文の主題(「～は」で表される)が同じ場合、後の文の主題を省略できます。

- 例・うち駅から10分のところにある。夜は人通りが少なくなる。(夜は)用意しなければ危ない。  
・わたしは最近体調が良くない。(わたしは)仕事が多すぎるので。

## B 省略されない場合

◆どの言葉の省略なのかわかりにくい場合は、省略しません。

- 例・木村さんが林さんに荷物を渡した。林さんはとてもうれしそうだった。  
(省略すると主語が林さんか木村さんかわからなくなる。)  
・この工場では26人の工員と3人の事務員が働いている。工員は、朝8時半には出勤する。  
(省略すると主語が工員か事務員か、あるいは工員と事務員なのかわからなくなる。)



◆主題を省略した文の後、次の文で別の言葉が主題になっている場合、ふつう省略しません。

- 例・わたしはリン・ブンショウと申します。(わたしは)中国から来ました。(わたしは)今、東西大学の経済学部3年生です。大学は東京から30キロ離れた所にあります。

## C 繰り返し・言い換え

◆前の中文に出てきた言葉を同じ言葉で繰り返したり、関連がある別の言葉などで言い換えたりします。

- 例・山田氏は学生時代、金がなく土木工事のアルバイトをよくやったという。労働はきつく、勉強する気力も残らないほどだった。  
土木工事のアルバイト・労働=似た意味の言葉  
・わたしは子供のときから虫を観察するのが好きだった。何時間でも野原で虫を見ていた。時には精密に虫の絵を描いた。将来は虫博士になりたいと思っていた。20年後、夢は実現した。  
虫を観察・虫を見て・虫の絵・虫博士=同じ語  
虫を観察・虫を見て=似た意味の語  
将来は虫博士になりたいと思っていた・夢=内容の言い換え

### 練習1 次の文の下線の言葉を省略できる場合は( )で囲みなさい。

- 例 庭に桜の木がある。(桜の木は)祖母の代からこの家にある。  
1 仕事と生活のバランスを保つのは難しい。仕事と生活のバランスが崩れると体調にも影響する。  
2 サイレンが鳴った。サイレンは3回鳴った。  
3 この料理は豆腐と卵で作ります。まず、ボールに豆腐を入れ、はしでかき混ぜて豆腐を崩します。  
4 「世界どこでもトラベル」という番組はとても人気がある。この番組はクラスのほとんどの人が見ている。わたしもこの番組を毎週楽しみにしている。  
5 ストレスという言葉を最初に使ったカナダのハンス・セリエ博士によれば、心と体は別々のものではなく、心で起きたことは体に影響を及ぼし、体で起きたことは心に影響を与える。したがって、心身の健康を考えるとき、ストレスをどう扱うかは大切なことである。  
6 睡眠にはレム睡眠とノンレム睡眠がある。レム睡眠は、体は休んでいるが脳は覚めている眠りのことである。  
7 わたしが住んでいる所は小さい村のはずれだ。わたしが住んでいる所は周囲に人家がない寂しい所である。人家は15歩いた所にやっと1軒ある。



**練習2** \_\_\_\_\_の部分の主語を書きなさい。

1 山田さん、ごぶさたしています。お宅のみなさんは<sup>たぐ</sup>お元気ですか。おととし<sup>①</sup>お会いしたときには、年内に仕事でスイスに<sup>ねんない</sup>行かれたとのことでしたが、その後、またどこかに<sup>③</sup>出張されましたか。

実は、わたしも先日、スイスに行ってまいりました。<sup>じつ</sup>本当に美しい<sup>ほんとう</sup>国ですね。あちこち<sup>④</sup>見て周りました。スイスにいとこが住んでいるので、何かと<sup>⑥</sup>世話をしてくれました。いとこは今度は、日本で<sup>⑦</sup>仕事をするのだそうで、久しぶりに日本に帰れると言って、<sup>⑧</sup>喜んでいました。

例：お宅のみなさん

- |    |    |    |
|----|----|----|
| ①： | ②： | ③： |
| ④： | ⑤： | ⑥： |
| ⑦： | ⑧： |    |

2 「コピーアンドペースト(コピペ)」という言葉が話題になっている。<sup>ことば</sup>「コピーしてはりつける」という意味だ。<sup>もと</sup>元はパソコン用語だが、このごろは「ほかの人が書いて、ウェブ上に<sup>の</sup>載せたものを、そのままコピーして自分の文章の中に使う」という意味で<sup>③</sup>使われることが多い。「コピペ論文はダメです。自分の言葉で書きなさい」と<sup>④</sup>言って、大学の先生たちもこれを禁止しているが、なかなか<sup>⑤</sup>なくならない。最近は不正なコピペが行われていないかどうかを調べるソフトが作られているようだ。大いに<sup>⑥</sup>役立つと期待される。

- |    |    |    |
|----|----|----|
| ①： | ②： | ③： |
| ④： | ⑤： | ⑥： |

**まとめ** つぎの文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1から□5の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

ぼくは、まわりの人があきれてしまうぐらいに、もの忘れをしてしまいます。

たとえば、ぼくが学生に「こういう実験をしてみたらどう?」と言ったはずなのに、一週間後にその実験をしている姿を見て「なんでそういう実験をやっているの?」と訊いたりする。挙句の果てに「その実験はあまり意味がない」みたいなことさえも□1。もの忘れがひどいのは昔からなのです。(略)

もの忘れやド忘れ<sup>(注)</sup>が増えると思えてしまう理由は、いくつかあります。子どもの頃に比べて大人はたくさんの知識を頭の中に詰めているから、□2 知識を選び出すのに時間がかかる。「大人が一万個の知識の中からひとつを選ぶようなものしたら、子どもは十個の記憶の中からひとつ選び出すだけだからすぐにできる」というような比喩ができます。

生きてきた上で□3 わけだから、これはもう仕方のことと言つていいと思います。ド忘れをしても、その内容を誰かに言ってもらうと「ああ、それそれ! それを言いたかった」とわかりますよね。つまり、ド忘れしている最中でも、その一方で脳は、正解が何かもまた、ちゃんと知っているわけです。つまり、忘れてしまった情報が消えてしまった□4。

それともうひとつ、実は子どももたくさんド忘れをするんです。ぼくも小さい頃からあちこちにものを置き忘れて困った記憶があるのですが、ただ、重要なことは、□5 気にしていない。それが健全な姿だと思います。

(池谷裕二・糸井重里『海馬 脳は疲れない』朝日出版社による)

(注) ド忘れ：よく知っているはずのことを忘れてどうしても思い出せないこと

□1 1 言ってしまう 2 言われてしまう 3 言わせてしまう 4 言わされてしまう

□2 1 その忘れたことの中から 2 その一万個の中から

3 そのたくさんの中から 4 そのいくつかの中から

□3 1 たくさんのことを見た 2 たくさんの中から

3 たくさんの中から 4 たくさんの中から

□4 1 わけにはいかない 2 わけがない 3 はずがない 4 わけではない

□5 1 子どもはその記憶を 2 子どもはそのド忘れを

3 大人はその記憶を 4 大人はそのド忘れを

## 12 課 文体の一貫性

文章としてのまとまりを持たせるために、文体を統一するのが普通です。比較的硬い文章で使われる文法形式や語彙は、日常的な会話の中で使われるものとは異なります。

文体=文章の種類・場面・目的によって異なる表現形式

### A 硬い文章の基本

◆全体を普通体か丁寧体かどちらかに統一して書きます。

◆縮約形や会話にだけ現われる言い方は使いません。

例 × これは経済政策じやない、つていうか、税金の無駄遣いつて思ったんだよ。

○ これは経済政策ではない。というより、税金の無駄遣だと思ったのだ。

◆助詞の省略はしません。

例 × 現場行って、故障の原因調べた。

○ 現場へ行って、故障の原因を調べた。

◆読む人を直接意識しているような書き方はしません。

・敬語 × すでに紹介したように、今、少子化の問題は深刻である。

○ すでに述べたように、今、少子化の問題は深刻である。

・依頼表現 × この問題について改めて考えてみてください。

○ この問題について改めて考えてみてほしい・考えてみてもらいたい。

考えてみたほうがいい。

### B 硬い表現と会話で使う表現

◆比較的硬い文章の中に日常会話で使う言い方が混じると、文体が統一できません。以下のようないかに文法形式に注意しましょう。

(数字と記号は第1部の課)

| 意味        | 硬い文章で使う表現 | 日常会話で使う表現 |
|-----------|-----------|-----------|
| たと<br>例える | ～ようだ      | ～みたいだ     |

|           |                                                                   |                                              |
|-----------|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 時間関係を表す   | ～に際して・あたって(1)<br>～つつある(2)                                         | ～とき<br>～ている                                  |
| 限定する      | ～のみ(F)                                                            | ～だけ                                          |
| 限定しない     | ～のみならず(6)<br>～はもとより(6)                                            | ～だけじゃなくて<br>～はもちろん                           |
| 例示する      | ～など・～といった(10)                                                     | ～とか                                          |
| 条件を表す     | ～であれば<br>～であっても<br>～にせよ(15)                                       | ～だったら<br>～だって<br>～にしても(15)・～にしたって            |
| 理由を表す     | ～ため・～によって(16)<br>～につき(16)                                         | ～ものだから(16)・～もので(16)<br>～ことだし(17)             |
| 軽く言う      | ～など(21)                                                           | ～なんか・～なんて(21)                                |
| 意見や判断を述べる | ～おそれがある(22)<br>～まい(22)・～ではあるまいか(22)<br>～に相違ない(22)<br>～にほかならない(23) | ～かもしれない<br>～ないんじゃない<br>～にきまっている(22)<br>～絶対～だ |
| 強くそう感じる   | ～ざるを得ない(25)                                                       | ～なくちゃ・～なきや                                   |

◆語彙も文体によって使われるものが違います。同じような意味の言葉でも、硬い文章では漢字だけを使う漢語が多く使われます。

| 品詞  | 硬い文章で使う表現                                        | 日常会話で使う表現                          |
|-----|--------------------------------------------------|------------------------------------|
| 副詞  | 非常に・大変・極めて<br>わずかに<br>たゞう 多数・大量に<br>じょじょ 徐々に・次第に | とても・すごく<br>ちょっと・少々<br>いっぱい<br>だんだん |
| 動詞  | の述べる・語る                                          | しゃべる                               |
| 接続詞 | しかし・だが                                           | でも・けど                              |
| その他 | このような・こうした                                       | こんな                                |



**練習1** どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 このまま温暖化が続けば、多くの生物が絶滅するに(①a ちがいない b きまつて)。さらに、他の生物(②a のみならず b だけじやなくて)人間も住めなくなるだろう。
- 2 自分が悪いことをしたと思ったのなら、(①a あやまち b 謝らなければ)ならない。(②a こんな b このよう)基本的なことができない大人が(③a 多すぎるんじやないでしょうか b 多すぎるのではないだろうか)。
- 3 <親しい友達に>「あ、太郎君。ごめん。今、(①a わずかに b ちょっと)困ったことが(②a 起こっちゃって b はっせい発生してしまって)、家を出られないの。遅れる(③a おそれがある b かもしれない)から、先に行ってて。」
- 4 ある調査によると、毎日(①a 本や新聞など b 本とか新聞とか)の活字を読んでいる子供は、(②a そうじやない b そうでない)子供に比べて、自分の意見を(③a しゃべる b 伝える)能力が高いことがわかつた。
- 5 <新聞記事>首相は23日の記者会見において、新しく大臣に(①a 就任する b なられる)議員の名前を(②a 言う b はつぱう発表することになっている。

**練習2** \_\_\_\_\_の部分は文体に合っていません。合うように書き換えなさい。

- 1 <レポート>日本人の学生と留学生を対象にやった「大学生活への満足度」に関するアンケート調査の結果をご報告いたします。最も違ひが大きかった項目は「なんでこの大学を選んだか」つていう質問に対する答えで、「自分の学力ではここしか入れなかつたもんで」とかの消極的な理由が日本人学生に目立つた。
- ①: \_\_\_\_\_ ②: \_\_\_\_\_ ③: \_\_\_\_\_ ④: \_\_\_\_\_  
 ⑤: \_\_\_\_\_ ⑥: \_\_\_\_\_
- 2 <新聞記事>宇宙航空開発機構は5日、台風の影響があることだし、6日早朝7時に予定されていた人工衛星ロケットの打ち上げを、延期すると発表した。新たな打ち上げは、関係者のお話では、9日午後だつたら調整可能だという。詳細は決まつたらすぐ発表するとしている。
- ①: \_\_\_\_\_ ②: \_\_\_\_\_ ③: \_\_\_\_\_ ④: \_\_\_\_\_

**まとめ** 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1から□5の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

日本人は、たった50年ほどの間に、多くの家電製品に囲まれて大量にエネルギーを使う生活様式へと変化しました。私たちの生活空間はモノで豊かになりましたが、相変わらず生活時間の点では貧乏な状態がつづいています。これまでの研究からは、いくら労働が節約できる製品が開発されても、私たちが求めている生活水準がそれ以上に上昇して□1、家事時間は□2減らなかつたことがわかっています。その傾向はいまでもつづいているのです。また、生まれてくる子どもは減り続けて、少子高齢化が問題になっています。日本では、仕事をしている人は、自分が普通に暮らすための家事□3十分にこなす余裕がないこともわかりました。□4、子どものために家事や育児をする時間がなく、少子化は避けられません。新しいモノを次々と大量に購入しては買い換え続けていることと、時間にゆとりを持てないこのあいだには密接な関係が□5。いまの日本の生活様式は、「環境を破壊しながら国民が消えていく」ものになってしまっているという点で、持続可能な社会とはほど遠いのが現状です。

(品田知美「家族の日常生活を学問する」『いま、この研究がおもしろいPart2』岩波ジュニア新書による)

□1

1 しまつたんで

2 しまつたし

3 しまつたのですから

4 しまつたために

□2

1 かなり

2 ほとんど

3 絶対

4 あんまり

□3

1 できえも

2 だつて

3 なんて

4 なんかも

□4

1 これでは

2 こんのでは

3 これなら

4 こうしては

□5

1 あるのではないだろ

2 あるんじやないか

3 あるのではないでしょ

4 あるんじやないでしょ